

『夢梅華館日記』 翻刻（第二十六～二十七卷）

陳 捷

解題

本稿は本誌第 32 号、33 号に掲載されている『『夢梅華館日記』 翻刻（第十九～二十二卷）』、『『夢梅華館日記』 翻刻（第二十三～二十五卷）』に続き、中国の文人孫点の自筆稿本『夢梅華館日記』（上海図書館歴史文献センター所蔵）第二十六～二十七巻を翻刻したものである。時期としては、光緒十四年八月十九日（西暦 1888、日本明治 21 年 9 月 24 日）から光緒十五年四月二十二日（西暦 1889、日本明治 22 年 5 月 21 日）までの八カ月間の部分である。

凡例

本稿は上海図書館歴史文献センターに所蔵されている孫点の自筆稿本『夢梅華館日記』第二十六、二十七巻の翻刻である。翻刻に当たり原文の明らかな誤字は（ ）に入れて、その後に（ ）で正しい文字を入れ、脱字は [] 中で補い、衍字は〈 〉で記した。原文の空格の箇所は□□で示した。なお、孫点は古字をよく使用し、日記中の異体字も多いが、翻刻の際には通用の漢字に統一した。中国語読者にも利用しやすいように、文字・句読点は基本的に旧漢字と中国式の標点符号を用いることにした。

**Rights were not granted to include this image in electronic media.
Please refer to the printed journal.**